



# 令和7年度 第1回 生涯学習センター運営審議会

令和7年8月19日（火）午後13時30分～  
宇都宮市役所 14大会議室

# 生涯学習センター運営審議会出席者名簿

## 生涯学習センター運営審議会委員（任期：令和7年6月1日～令和9年5月31日）

1	熊倉 シゲ子	泉が丘地区連合自治会文化部長（東生涯学習センター）
2	鈴木 ヤス子	宇都宮市スポーツ推進委員（西生涯学習センター）
3	小池 恵一郎	五代若松原地区連合自治会会長（南生涯学習センター）
4	寺西 芳子	平石地区婦人防火クラブ会長（平石生涯学習センター）
5	阿久津 秀夫	清原地区自治公民館連絡協議会会長（清原生涯学習センター）
6	村田 千佳	横川地区女性防火クラブ会長（横川生涯学習センター）
7	渡邊 秀雄	瑞穂野地区まちづくり協議会役員事務局長 （瑞穂野生涯学習センター）
8	池田 美香	国本中学校地域協議会活動推進委員（国本生涯学習センター）
9	小曾戸 典子	富屋小学校地域協議会地域学校協働活動推進員 （富屋生涯学習センター）
10	首藤 慎二	豊郷地区連合自治会会長（豊郷生涯学習センター）
11	石塚 勝	姿川地区まちづくり協議会副会長（姿川生涯学習センター）
12	佐久間 昌平	雀宮地区自治会連合会事務局長（雀宮生涯学習センター）
13	斉藤 智子	上河内中学校地域協議会 地域学校協働活動推進員 （上河内生涯学習センター）
14	中里 雅代	河内地区まちづくり協議会副会長（河内生涯学習センター）
15	宇賀神 俊彦	宇都宮市立姿川第一小学校長（小学校長会）
16	鈴木 智喜	宇都宮市立陽西中学校校長（中学校長会）
17	若園 雄志郎	宇都宮大学准教授
18	坪井 真	作新学院大学女子短期大学部教授
19	高橋 昭夫	公募
20	青木 智子	公募

## 出席生涯学習センター所長

1	中央生涯学習センター所長	伊瀬 公章
2	西生涯学習センター所長	藍原 紀子
3	北生涯学習センター所長	伊藤 泰拓
4	清原生涯学習センター所長	近藤 真琴
5	瑞穂野生涯学習センター所長	手塚 幸市
6	国本生涯学習センター所長	近藤 康
7	豊郷生涯学習センター所長	穉山 克彦
8	姿川生涯学習センター所長	高橋 信彦
9	上河内生涯学習センター所長	大嶋 和人

## 事務局

1	生涯学習課長	塚田 真仁
2	生涯学習課長補佐	横山 靖夫
3	中央生涯学習センター 副所長	菊地 有一郎
4	企画グループ 係長	手塚 友洋
5	総括	澁川 泰子
6	主任	千葉 水望
7	主任主事	添野 真未
8	放課後児童グループ 係長	大貫 晴彦
9	家庭教育・地域人材グループ 係長	加藤 裕史

# 次第

## 1 開会

- ・ 課長挨拶
- ・ 委員紹介

## 2 生涯学習センター運営審議会について

## 3 議事

### 正副委員長選出について

#### 【協議事項】

- (1) 令和6年度生涯学習センター事業運営の評価について
- (2) 令和8年度生涯学習センター事業運営の考え方（案）について

#### 【参考資料】

- ・ 【別紙1】 令和6年度生涯学習センター事業実施報告書

## 4 その他

## 5 閉会

## 2 生涯学習センター運営審議会について

### 役割

社会教育法第29条に基づき、生涯学習センター事業の企画実施等について調査審議する機関。生涯学習センターの運営等に対するさまざまな助言・提言を貴重な市民の声、または新たな知見として生涯学習センターの事業運営に役立てる。

(社会教育法第29条及び宇都宮市生涯学習センター条例 第11条)

### 委員 構成

**20名**

(社会教育関係者14名 学校教育関係者2名 学識経験者2名 公募2名)

(宇都宮市生涯学習センター条例第11条)

### 任期

**2年** (令和7年6月1日～令和9年5月31日)

(宇都宮市生涯学習センター条例第11条及び宇都宮市生涯学習センター施行規則第8条)

### 会議 回数

**2回** (8月・2月)

### 3 正副委員長選出について

#### 【生涯学習センター条例施行規則 第8条】

第1項 宇都宮市生涯学習センター運営審議会（以下「審議会」という。）に、委員長及び副委員長を置き、委員がこれを互選する。

第3項 委員長は、審議会の所掌事務を総理し、会議の議長となる。



### 3 議事

【協議事項】(1) 令和6年度生涯学習センター事業運営の評価について

## 第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画の基本理念

学びを通して、社会の変化に対応できる高い人間力を育むとともに、地域ぐるみの教育活動により、一人ひとりが活躍できる社会を実現する

## 第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画の基本目標

### 基本目標Ⅰ

一人ひとりが自己の実現や生活の向上、地域社会の発展に向けて主体的に学習に取り組んでいます。

### 基本目標Ⅱ

地域・学校・家庭が相互に連携・協力した教育活動を通して、地域全体で学び合い育ち合っています。

### 基本目標Ⅲ

多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています。

### 基本目標Ⅳ

学習や学んだ成果を生かした活動に持続的に取り組める環境が整っています。

## 生涯学習センター事業運営の考え方

### 重点項目(1)

地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進

### 重点項目(2)

地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進

### 重点項目(3)

地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

### 重点項目(4)

持続的に地域住民の学習や活動、交流を支援する地域教育の基盤の強化

### 3 議事

【協議事項】(1) 令和6年度生涯学習センター事業運営の評価について

#### 重点項目 (1)

#### 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進

【評価】本市の歴史・文化等の学習科目や健康・防災など生活に関連する講座、スマホ等活用した学習機会の充実など、各種講座を実施するとともに、グループワークを講座に取り入れることで参加者同士の交流を促すなど、一人ひとりの学習意欲高揚につながったことから、R5年度よりも受講者数が増加し、満足度も高水準となった。

後期計画の指標	R5年度	R6年度
生涯学習センター講座の受講者数	10,589人	11,352人(+763人)
スマホ、PCなどを使って学ぶ講座受講者数	583人	776人(+193人)

#### 受講者アンケート

⇒生涯学習センター講座の満足度は  
**97.9%**

#### R8の取組の視点

- ・引き続き、仲間づくりにつながる講座や生活課題、社会的課題の解決に資する講座などを提供し、受講者の学習意欲の高揚と生活の向上を図る。
- ・全体として受講率の低い働き世代などが参加しやすいように開催日時など工夫するとともに、オンライン等による講座の提供を検討する。
- ・R7より公共施設予約システムを導入したことから、予約システムの使用方法も組み込んだ講座の実施やデジタルディバイド対策としてスマホ基礎講座を継続して提供する。

### 3 議事

【協議事項】(1) 令和6年度生涯学習センター事業運営の評価について

#### 重点項目 (2)

#### 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進

【評価】親子で参加できるレクリエーションや子育ての悩みにまつわる講座などを開催したほか、家庭教育支援のため、子育て相談などの提供をR5よりも多く実施した。また、高校や大学、企業と連携したものづくり等の講座や、地域のまちづくり協議会や育成会等と連携した講座など、地域の様々な主体との連携について働きかけ、連携講座の実施回数が増加するなど、企業・地域等と連携・協力した教育活動の推進につながった。

後期計画の指標	R 5 年度	R 6 年度
家庭教育支援に係る講座等の実施回数	166回	175回(+9回)
大学・企業等と連携した講座の実施回数	63回	65回(+2回)

#### R8の取組の視点

- ・参加者間の交流の場や体験活動の場を提供することで、孤立しがちな子育て世代のコミュニティの形成を促進させ、家庭教育支援を充実させていく。
- ・受講者のまちづくり、人づくりへの意識啓発を促すため、学校や企業、地域の活動主体などの地域のまちづくりに携わる様々な主体との連携を推進していく。

### 3 議事

【協議事項】(1) 令和6年度生涯学習センター事業運営の評価について

#### 重点項目 (3)

#### 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

【評価】各地域の歴史や文化，地元食材等を題材とした地域理解につながる講座を提供し，R5よりも受講者数が増加した。また，地域住民が改めて自分の住む地域に目を向け，考える機会を創出するための講座について，R5よりも講座数を増やし，より多くの方に学んだ成果を活動につなげるための意識醸成を図ることができた。

後期計画の指標	R5年度	R6年度
地域学講座，宇都宮学講座等の受講者数	1,086人	1,335人(+249人)
地域かがやきプロジェクト講座数	17講座	20講座(+3講座)

地域かがやきプロジェクト  
⇒地域の魅力や防災等地域住民が改めて考え取組のきっかけとなるような機会を創出する講座

#### R8の取組の視点

・受講者が地域の課題に気づき，課題解決に向けた主体的な学習・活動へ繋げていくことができるよう，引き続き，地域への興味・関心を促す講座を開催しながら，地域を支える人材育成を図る。

### 3 議事

#### 【協議事項】(1) 令和6年度生涯学習センター事業運営の評価について

#### 重点項目 (4)

#### 持続的に地域住民の学習や活動，交流を支援する地域教育の基盤の強化

【評価】学習や活動を行う場である生涯学習センターの利用者数については，R6年度中に行った施設工事に伴う貸出し停止期間の影響により，利用者数が減少したものの，学習成果を発揮できる機会であるセンター文化祭においては，R5よりも多くの団体が出展するなど，学習や活動の支援，地域住民との交流に寄与することができた。

後期計画の指標	R5年度	R6年度
生涯学習センター施設の利用者数	536,269人	523,880人 (▲12,389人)
学習成果を活用した活動機会の充実（文化祭での出展団体数）	486団体	560団体(+74団体)

施設工事に伴う貸館の停止による利用者数の減

・東生涯学習センター（11月～3月：電灯設備改修工事）

・平石生涯学習センター（10月～2月：空調設備改修工事）

#### R8の取組の視点

・R7.4月より導入している公共施設予約システムに周知啓発に取り組み，これまで利用が少ない世代などを含むより多くの方に生涯学習センターを利用してもらうなど，利用率の向上を図り，施設を利用しやすい基盤を強化していく。

・生涯学習活動団体の日頃の学習成果の発表機会を創出するため，引き続き全ての生涯学習センターで文化祭を実施し，地域住民の学習や活動，交流を行う場を提供していく。

### 3 議事

【協議事項】(1) 令和6年度生涯学習センター事業運営の評価について

## 令和6年度生涯学習センターにおける 主な講座の紹介

中央, 西, 北, 清原, 瑞穂野, 国本, 豊郷, 姿川, 上河内

※ 各生涯学習センターの実績に関する詳細については  
【別紙1】「令和6年度生涯学習センター事業実施報告書」を参照

# 令和6年度 実施講座 中央生涯学習センター

## 乳幼児対象 「パパもママもはぐはぐ子育て講座」 12月開催

受講者数21組

※父親に参加してもらう事で、子育てに積極的にかかわるきっかけを作り、母親の育児ストレスの軽減やリフレッシュの機会を提供する講座



↓ リモート参加を実施

別室で開催

【パパはお子さんとのリズム】 (河合楽器幼児教育講師)

【ママはパーソナルカラーで自分に似合う色を探す】

(カラーリスト講師)

授乳室やおむつ替えの別部屋を用意。休憩や講座後に相談員による子育て相談を実施して、パパママの悩みに対応。

- ・パパの休日と合せられる土日に実施した。(前アンケートより)
- ・リピーターも多く、乳幼児期に家族で参加できる講座は好評。
- ・「楽しく参加できた」「子どもも満足していた」(パパの声)
- ・「服選びが楽しくなる」「リフレッシュできた」(ママの声)
- ・子育て相談員からは、パパの接し方が微笑ましく、ママへの感謝と協力したい気持ちが高まったという声が複数あった。
- ・子育てが楽しくなる、また、参加したい気持ちを掻き立てる講座となるように、生涯学習指導員が企画・運営している。

# 令和6年度 実施講座 西生涯学習センター

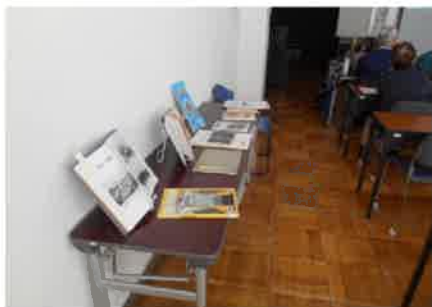
## 「宇都宮再発見！～人々の幕末と明治維新～」

6月～11月(全5回)開催 受講者数 43名



←受講風景

↓案内チラシ



↑参考資料を配架

宇都宮市西生涯学習センター主催講座

明治を再発見！

### 宇都宮再発見！

～人々の幕末と明治維新～

①	6/21 (金)	イザベラ・バードの見た栃木 ～明治の日本人～	栃木県立博物館 名台学芸員 柏村 祐可 氏
②	9/30 (金)	幕末の宇都宮 ～宇都宮藩の危機と文人たちの活躍～	栃木県立博物館 館長 真史 氏
③	9/20 (金)	宇都宮城とたどる近代 ～戊辰戦争から現代まで～	栃木県立博物館 小柳 兵吾 氏
④	10/25 (金)	県庁移転140年 ～宮っ子の維新～	栃木県文芸協 職員
⑤	11/22 (金)	交通の移り変わり ～新しい街へ～	下野歴史研究会 神野 安祥 氏

### 【内容】

- ・幕末から明治維新までの激動の時代について、地元宇都宮の視点から捉える一連の講座を、地域内に所在する県立博物館との連携・協力のもと実施した。
- ・受講者からは、「明治の日本や自分たちの故郷を知り、現在の宇都宮につながる内容がとても興味深かった。」「近世の下野の庶民の暮らしを知ることができてよかった。」などの感想があった。
- ・地域の歴史を学ぶことで、地域への理解を深められると好評であり、毎年人気の講座である。

# 令和6年度 実施講座 北生涯学習センター

講座のタイトル「小学生夏休み体験講座」 8月開催 受講者数10名



<デザイン考え中>



<ランプシェード製作>



<ランプシェード点灯>

## 【内容】

- ・地域内にある文星芸術大学と連携し、芸術に関する専門的知識を学ぶ大学生が講師となり、小学校高学年を対象にランプシェードを作る講座を実施した。
- ・参加者からは、「大学生たちが、やさしくアドバイスをくれたり、説明が丁寧で楽しかった。」といった声もあり、好評であった。
- ・講師となった大学生からは、「子ども達との交流は新鮮で貴重な経験となった。教える難しさも感じた。」との声もあり、教職課程を履修している学生にとっては気づきの場になった。
- ・大変好評であったことから、令和7年度も引き続き大学と連携しながら実施していく。

# 令和6年度 実施講座 清原生涯学習センター

## 「清原の魅力を発信しよう講座

宇都宮陸軍飛行場秘話～ネット検索では知れない 清原飛行場の本当の歴史～

10月～12月開催 全3回 延べ受講者数175名



第2回 遺跡散策風景  
しょう  
(飛行学校材料廠建物)



しょう  
航空廠発動機工場跡  
(油脂倉庫)

### 【内容】

- ・清原地区にあった「宇都宮陸軍飛行場」の歴史を学ぶ全3回の連続講座(①講義, ②館外学習, ③SNSでの情報発信)を開催した。
- ・平日仕事がある人なども参加できるように土曜日開催とし, 地区外へも周知(広報紙に募集記事掲載)した結果, 定員を大幅に超える申し込みとなった。
- ・作新学院大学と連携し, 大学生を講師にSNSの投稿, 操作方法などを楽しく学び, 好評であった。
- ・第二弾の開催を期待する声も多く, 令和7年度は内容を一部変更して同講座を実施する。

# 令和6年度 実施講座 瑞穂野生涯学習センター

講座のタイトル「女性のための大人の学び講座」

10月開催 受講者：第1回数31名，第2回18名，第3回16名



## 【内容】

- ・継続的な「学び」と参加者同士の交流を図り，地域活動に参加するきっかけとなるよう，令和4年度から，「女性のための大人の学び講座」を開催している。
- ・これまで料理教室や健康講座など，ジャンルを問わずニーズに合わせて年に3回程度実施している。
- ・第1回目は館外学習（陶芸体験），第2回，第3回は韓国料理講座を実施した。
- ・どの講座も多くの方に参加していただき，地域の女性同士の交流が深まったことから，引き続き同講座を実施していく。

# 令和6年度 実施講座 国本生涯学習センター

## 「10倍楽しむ国本塾」

6～11月全5回開催 受講者数20名

岩本観音  
摩崖仏2体(馬頭観音・地藏菩薩)へ続く



【内容】新旧の地域資源について、地元の方から学ぶ、座学と現地見学を組み合わせた「国本地区」ならではの地域学講座

【目的】地域の魅力の再発見、郷土愛の醸成  
地域活動を共にする人材の発掘

【対象】地区内在住の一般成人

【感想】

- ・ 地域の歴史や文化財、また、それらを守るために頑張っている人たちのことを知れて良かった。
- ・ 楽しい時間と、地域の宝物に出会えた喜びで満足。東京にいる孫を誘ってまた来たい。
- ・ 岩本観音は何回か来たことがあるが、詳しい説明を聞いたのは初めて。見方が変わった。子どもたちやご近所の方とまた来たい。

宇都宮初!  
国本産  
ワイン  
の醸造



# 令和6年度 実施講座 豊郷生涯学習センター

講座のタイトル「防災力UP講座」 8月開催 受講者数28名



## 【内容】

- ・豊郷地区連合自治会，豊かな郷づくり推進協議会，豊郷地区防災会との共催により，地区で課題となっていた自主防災組織の取組を考える講座「地域タイムラインの作成」を開催した。
- ・当日は，「いつ」，「だれが」，「どのような対応をするのか」を明確にすることができて良かったとの声が多くあり，好評であった。
- ・令和5年度から，地域団体との共催により開催している講座であり，地域自主防災組織の取組強化を考える場となっていることから，引き続き同講座を実施していく。

# 令和6年度 実施講座 姿川生涯学習センター

「お絵描きアート講座」 8月開催 受講者数8名

正面玄関



作品展示



## 【内容】

- ・ 新型コロナ対策として購入した未使用の飛沫防止シートを画材として活用する「お絵描き講座」を地区内の小学生を対象に実施した。
- ・ 講座は「姿川地区をイメージしたもの」をテーマとし、姿川地区の魅力に気づく契機とした。
- ・ 本講座により、未使用の飛沫防止シートのアップサイクルによるSDGsの促進とともに、完成した作品をセンター正面玄関(窓ガラス)に展示し、多くの市民の目に触れることで、センターの新たな魅力創出が図れた。

# 令和6年度 実施講座 上河内生涯学習センター

「上河内地域学」御用川に学ぶ～「城下町」整備と木材供給～ 3月開催 受講者数45名



## 【内容】

- ・ 令和6年度は、上河内地区内を流れる御用川を題材とし、陸路や鉄路の輸送手段が乏しい時代に、近世の人々は、城下町の整備に必要なとなる大量の木材をどのように供給したのか、大学教授による講座を実施した。
- ・ 当日は「御用川が宇都宮の繁栄に寄与したことを知り、郷土を誇りに感じた」といった声もあり、非常に好評であった。
- ・ 上河内地区の伝統文化や史跡等を題材に、地域を知り、地域に愛着を持つきっかけづくりとして、引き続き「上河内地域学」を実施していく。

### 3 議事

#### 【協議事項】(2) 令和8年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について

#### 令和8年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)

- 引き続き、令和5年2月に策定した「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」に基づき、生涯学習センターの事業運営に取り組む。  
計画策定4年目となる令和8年度については、重点項目や令和6年度の実績などを踏まえ、以下の取組の視点をもとに事業運営を行うこととする。

重点項目	R8の取組の視点
(1)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学習意欲向上につながる魅力的な講座の実施</li><li>・ デジタル技術を活用した効果的な講座検討とデジタルディバイトへの対策</li><li>・ 働き世代など誰もが参加しやすい開催手法を検討・実施</li></ul>
(2)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 子育て世代のコミュニティ形成を促す講座の実施と家庭教育支援の充実</li><li>・ 企業やまちづくりの主体と連携した学校や家庭ではできない体験型講座などの実施</li></ul>
(3)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 講座を通して地域課題の共有や、郷土愛の醸成につながる講座の実施</li><li>・ 若年世代や働き世代などを巻き込んだ地域の魅力発信と地域を支える人材育成</li></ul>
(4)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公共施設予約システムの周知啓発と生涯学習センターの利用促進</li><li>・ 生涯学習団体が学習成果を発表する機会の充実</li></ul>

### 3 議事

【協議事項】(2) 令和8年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について

#### 重点項目 (1)

#### 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進

##### R8の取組 の視点

- ・学習意欲向上につながる魅力的な講座の実施
- ・デジタル技術を活用した効果的な講座検討とデジタルディバイトへの対策
- ・働き世代など誰もが参加しやすい開催手法を検討・実施

##### (施策例)

- ・「学ぶ楽しさ」を感じ、「仲間づくり」につながる講座の開催
- ・参加者の状況や段階に見合ったデジタル関連講座の実施(初心者向け～ステップアップ編)
- ・SNSやQRコード等、デジタル技術を活用した若い世代・働き世代への講座の情報発信や参加募集

#### 重点項目 (2)

#### 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進

##### R8の取組 の視点

- ・子育て世代のコミュニティ形成を促す講座の実施と家庭教育支援の充実
- ・企業やまちづくりの主体と連携した学校や家庭ではできない体験型講座などの実施

##### (施策例)

- ・子育て世代の保護者の気づきや悩み解決、親子の交流や仲間づくり、コミュニティ形成を促す参加交流型講座の開催
- ・土日や平日夜の講座の開催など共働き世代等でも参加しやすい環境づくり
- ・まちづくり、人づくりの意識啓発ができるよう様々な主体と連携した体験学習型講座を実施
- ・高校や大学の先生、学生による講座を通じた多世代交流機会の創出

### 3 議事

【協議事項】(2) 令和8年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について

#### 重点項目 (3)

地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

#### R8の取組 の視点

- ・ 講座を通して地域課題の共有や、郷土愛の醸成につながる講座の実施
- ・ 若年世代や働き世代などを巻き込んだ地域の魅力発信と地域を支える人材育成

#### (施策例)

- ・ 「地域学講座」など地域課題を共有し、地域に対する理解や愛着を育む講座の開催
- ・ 地域の様々な主体と連携した講座を通し、参加者と地域の活動主体とのつながりを創出
- ・ SNSやデジタルの活用による若い世代・働き世代へ向けた地域の魅力発信

#### 重点項目 (4)

持続的に地域住民の学習や活動、交流を支援する地域教育の基盤の強化

#### R8の取組 の視点

- ・ 公共施設予約システムの周知啓発と生涯学習センターの利用促進
- ・ 生涯学習団体が学習成果を発表する機会の充実

#### (施策例)

- ・ 活動場所を確保するための公共施設予約システムの利用支援
- ・ 利用者に文化祭等の学習成果を発揮できる場を提供
- ・ 学びに関する相談への対応や様々な学習の情報提供等を実施

### 3 議事

【協議事項】(2)令和8年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について

共通

講座実施にあたってのポイント

リピーターだけでなく、  
新規の参加者を集める工夫

- ・ 講座内容の見直し
- ・ 募集方法の追加
- ・ SNSなどを活用した周知

参加者の状況やレベルに  
見合った講座の実施

- ・ 内容を固定せず、  
ステップアップ講座などを実施

働き世代など多様な世代の  
参加促進

- ・ 土日や夜に講座を開催
- ・ 託児の充実

男女ともに参加しやすい  
環境の整備

- ・ 講座名称の工夫  
「パパママ応援講座」、  
「男の料理教室」、「女性学」など



## 4 その他

### 【連絡事項】

- ① 広報紙「栃公連」Vol.67の配布について  
(机上配布)
- ② 次回の会議日程について  
(令和8年2月頃 開催予定)

## 5 閉会

---

長時間にわたるご審議，  
ありがとうございました。

